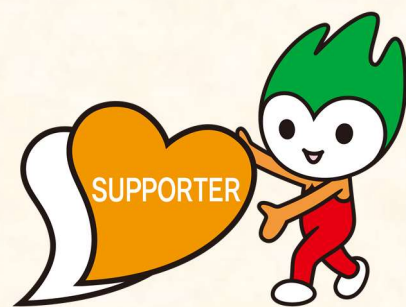
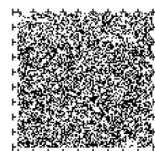


障害関連団体活動紹介冊子

この冊子は、「障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例」の制定を機に、広く県民や事業者の皆様には障害や障害のある方への理解と関心を深めていただくとともに、障害理解につながる団体活動の一層の促進を図ることを目的として作成しました。



令和4年12月
山口県障害者支援課



目次

1.	公益社団法人 日本オストミー協会山口県支部	2
2.	一般社団法人 日本筋ジストロフィー協会 山口支部	3
3.	高次脳機能障害ぷらむ山口	4
4.	山口喉友会	5
5.	山口県ことばを育てる親の会	6
6.	一般社団法人 山口県視覚障害者団体連合会 社会福祉法人 山口県盲人福祉協会	7
7.	山口県肢体不自由児(者)父母の会連合会	8
8.	NPO法人 山口県自閉症協会	9
9.	山口県重症心身障害児(者)を守る会	10
10.	山口県手話サークル連絡協議会(県手連)	11
11.	山口県手話通訳問題研究会	12
12.	山口県障害福祉サービス協議会	13
13.	人工内耳友の会ACTIA山口支部	14
14.	一般社団法人 山口県身体障害者団体連合会	15
15.	NPO法人 山口県腎友会	16
16.	山口県精神保健福祉会連合会	17
17.	一般社団法人 山口県相談支援専門員協会	18
18.	一般財団法人 山口県知的障害者福祉協会	19
19.	山口県中途失聴・難聴者協会	20
20.	一般財団法人 山口県手をつなぐ育成会	21
21.	山口県点訳音訳ボランティア連絡会	22
22.	認定NPO法人 みらいプラネット	23
23.	山口盲ろう者友の会	24
24.	NPO法人 全国要約筆記問題研究会 山口県支部	25
25.	NPO法人 山口県要約筆記連絡協議会	26
26.	一般社団法人 山口県ろうあ連盟	27

各ページの団体区分は以下によっています。

障害当事者団体

障害当事者団体(家族団体含む)

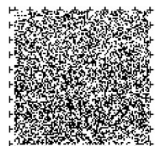
支援・ボランティア団体

障害支援団体・ボランティア団体

協働活動団体

障害のある人とない人との協働活動団体

各ページの右下に視覚障害者などのための音声コード Uni-Voice を添付しています。



公益社団法人 日本オストミー協会山口県支部

活動概要

障害当事者団体

オストメイト等のセルフケアやQOLの向上のために、体験を共有化し相互の協力を通して、知識の普及及び啓発を目的としています。

活動内容・PR等

- (1) オストミーに関する講演会、講習会及び見学視察等
- (2) オストメイト等に対するセルフケア及び相談
- (3) 社会適応訓練事業の実施
- (4) 会報、オストミーに関する図書、印刷物等の刊行
- (5) オストメイト等の福祉増進に関する事項
- (6) 会員の親睦と福祉の向上
- (7) 関連諸団体の行う事業への連携・協力
- (8) その他、本支部の目的達成に必要な事業



知ってください。わたしたちのこと。



オストミーデーin山口2022研修会風景

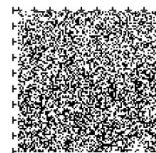
団体情報

連絡先

✉ joayamaguchi@yahoo.co.jp

活動場所
活動日・時間

山口県内各地（主として岩国地域、周南地域、山口地域）
毎月の相談会、2か月毎の会報誌配布、役員会、社適研修会等



一般社団法人 日本筋ジストロフィー協会 山口支部

活動概要

障害当事者団体

筋ジストロフィー児・者・家族の援護と福祉の増進に寄与することを目的としています。

活動内容・PR等

山口支部では、10歳未満から70歳代まで幅広い年齢層の会員が所属しています。

会員同士のグループLINEがあり、困ったこと等を話題に挙げると誰かが答えてくれます。

イベントは1回/年あり、会員の要望に応え、療育研修会、個別相談、訪問調査、茶話会などをおこなっています。また、毎年秋に、希望者のみ広島西医療センターでの無料健診を行っています。

コロナ禍での交流会は、リモートにて8~10家族が参加しています。



Zoom総会

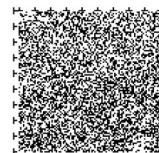
団体情報

連絡先

支部長 福江 裕子
✉ fukue@jmnda.or.jp

活動場所
活動日・時間

主に山口県健康づくりセンター、山口県セミナーパーク
不規則



高次脳機能障害ぷらむ山口

活動概要

障害当事者団体

高次脳機能障害者とその家族の交流、情報交換を図るとともに、共に支え合う場を作り、家族や社会での問題解決の方途を探る。また、広く社会に働きかけ、医学的勉強会、リハビリテーションの方法、啓発活動等に取り組む。

活動内容・PR等

1. 家族会の開催

奇数月（第3日曜） 会場：山口県身体障害者福祉センター

- ・家族同士の情報交換会
- ・当事者は高次脳機能障害支援センター（県立こころの医療センター内）主催によるやまぐちリハビリの会参加

2. 山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会参加

令和4年度はW E B 研修会

3. 研修、交流の場

- ・日本高次脳機能障害友の会との連携
- ・NPO法人キセキの活用・協力

4. その他

ホームページによる啓発活動

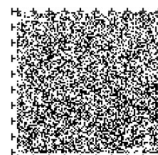


会員同士の交流の場としてバーベキュー大会

講演会の開催(コロナ禍により開催日が3回変更となりました)

団体情報

連絡先	柳井市新庄922 代表：北村勝彦 TEL 0820-22-2204 ✉ katuhiko.k5204@rouge.plala.or.jp
ホームページ	https://blog.canpan.info/puramuyamaguchi/
活動場所 活動日・時間	山口県身体障害者福祉センター（山口市八幡馬場36-1） 奇数月（第3日曜日 13時30分～）



山口喉友会

活動概要

障害当事者団体

喉頭摘出手術を受けた集まりです。喉頭摘出手術を受けた者の早期社会復帰を願って発声指導及び会員相互の親睦と福祉の増進を図ることを目的としています。

活動内容・PR等

➤ 交流会の実施

年に1度、4教室持ち回り引き受けて、1泊2日の親睦旅行を計画し4教室の交流を促進しています。

➤ 機関誌「山口喉友」発行

年に1回、活動報告や当会に関連する医療機関等からの寄稿、会員の寄稿を掲載して情報発信しています。

➤ 発声教室

4教室開講して発声訓練を通じて親睦を深めています。

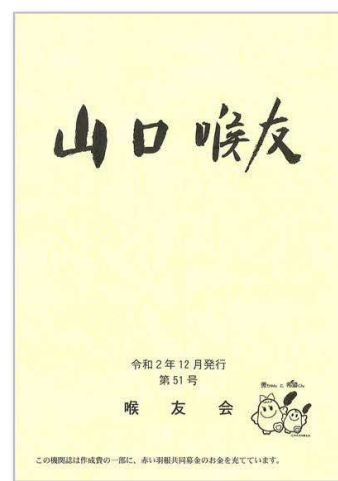
喉頭摘出した者が教室の指導員となり拠点病院の術前術後の患者さんの相談や会員に寄り添った発声指導を行っています。

➤ 研修会

指導員を中心に発声法の研究や指導方法の研究及び中四国ブロック研修会で指導者養成者の研修や研鑽をしています。



定期総会

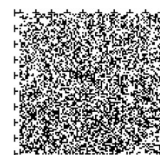


会報誌「山口喉友」

団体情報

連絡先
会長 西村
TEL 0836-34-2450
FAX 0836-34-2480

活動場所
(4教室)
1 下関教室 (下関身体障害者福祉センター)
2 宇部教室 (山口大学病院、宇部総合福祉会館)
3 防府教室 (県立総合医療センター)
4 周南教室 (徳山中央病院本館、徳山社会福祉センター)



山口県ことばを育てる親の会

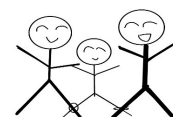
活動概要

障害当事者団体

県内の通級指導教室親の会の連絡協議会の役割を担っています。
情報共有の為、総会、研修会、キャンプなどを企画しています。
子どもたちや先生方の環境改善の為に要望書の提出も行っています。

活動内容・PR等

私たちは通級指導教室に通われている保護者や通っていた保護者の会です。
子どもを真ん中に先生と保護者の「三人四脚」が合言葉の活動をしています。



我が子（私）が困っているのはことばじゃないんだよね～、だってしゃべれるし、だから「ことばを育てる親の会」は私には関係ないんだよね。

と思われる方は少なくないと思います。ご縁があって通級指導教室に通われているお子さんにとって、ことばは自分を守る大切な武器になるはずです。また、我が子の自立を目指すには同じ境遇をたどっている保護者さんの情報はとても有効で、一人でも多くの子どもがことばを育むことができる環境は、諸先輩方が築いてくださった道です。その道を、ご縁があつてつながった同士で、困り感を抱えている子どもたちや保護者と先生の為につなげていく活動をしています。



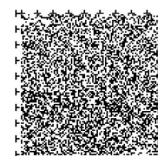
今年度のキャンプにて(カヌー)



今年度のキャンプ(シャワークライミング)

団体情報

連絡先	山口県ことばを育てる親の会Facebookメッセージ活用
活動場所	山口県内
活動日・時間	不定期



一般社団法人 山口県視覚障害者団体連合会

社会福祉法人 山口県盲人福祉協会

📋 活動概要

障害当事者団体

支援・ボランティア団体

山口県内の視覚障害者で構成する団体活動として、社会参加推進事業を行い福祉の向上と共生社会の実現を目指しています。また、山口県盲人福祉協会はロービジョンを含む視覚障害者団体活動を全面的に支援しています。

📋 活動内容・PR等

① 団体活動

- 1 山口県盲人福祉大会を隔年に開催
- 2 中国地区及び全国の視覚障害者福祉大会への参加
- 3 グランドソフトボール（盲人野球）やサウンドテーブルテニス（盲人卓球）大会開催など、障害者スポーツを通じて社会参加推進と一般への理解促進を目的としています。
- 4 文化祭カラオケ交流大会を開催し、一般健常者との文化交流を図っています。

② 支援活動

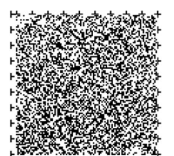
- 1 養護盲老人ホーム「春光苑」の経営
- 2 山口県盲人福祉協会点字図書館の経営
- 3 日常生活訓練（歩行訓練等）を実施し、社会参加を支援
- 4 点字情報等を提供し、視覚障害者へのさまざまな情報支援
- 5 その他デイサービスセンターやヘルパーセンター等の経営



下関南総合支援学校グラウンドにてグラウンドソフトボール大会

団体情報

連絡先	下関市関西町1-10 TEL 083-231-7114 FAX 083-231-8097
ホームページ	http://www.yamamou.com





山口県肢体不自由児（者）父母の会連合会

活動概要

障害当事者団体

肢体不自由児・者の福祉の増進と、自立による社会参加を目的として、各種要望活動、会員研修会の開催、全国大会・ブロック大会の参加、地域指導者セミナーの開催・参加、表彰事業など、さまざまな事業を推進しています。

活動内容・PR等

- 肢体不自由児者への生活支援、保健医療、雇用、教育の充実
障害者への生活支援の充実等国や県に対する要望活動を実施しています。
- 中国四国ブロック大会（島根大会）への参加（今回は記念誌発行）
ブロック内の諸問題について研修や意見交換等を行っています。
- 地域指導者セミナーの共催・参加（今回は新型コロナ拡大のため中止）
全肢連と協力して共催や参加者を派遣して地域指導者の育成を図っています。
- 会員研修会の開催（令和4年度は中止）
- 功労者の表彰
総合社会福祉大会での優良会員の表彰
- 肢体不自由児協会事業への協力
奨学金給付・慰安行事への協力



第51回中国四国ブロック大会オンライン配信
(令和3年11月13日長門市中央公民館)

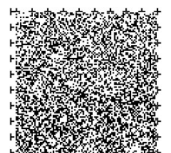


会員研修会(令和元年7月7日ラポールゆや)

団体情報

連絡先 事務局 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内
 TEL 083-925-2424
 FAX 083-925-2212
 ✉ yamashiren@soleil.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/77/>



NPO法人 山口県自閉症協会

活動概要

障害当事者団体

自閉症をもつ子の家族が支えあいながら、行政、教育、支援センターなどの関係機関と連携し、「自閉症だけど大丈夫。自閉症だけど安心して暮らしていける」社会の実現を目指して活動しています。

活動内容・PR等

や 世界自閉症啓発デーにちなむ自閉症児者の作品展示会の実施

「世界自閉症啓発デー」（毎年4月2日）に合わせて実施しています。

ま 交流会の実施

レクリエーションなどを通して同じ悩みを持つ家族と交流の場を設けています。

🔄 機関誌「あすなろ」の発行

年に一回、活動報告や実践報告として発行しています。

ち 相談会・研修会・茶話会

専門家に相談するほどではないけれども、少し気になる子どもをもつ保護者・支援者の方を対象にした相談会や研修会を開催しています。また、ペアレントメンターを交えての茶話会も開催しています。



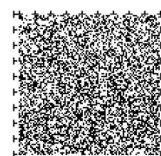
野島探訪(交流会)で、ボランティアさんと一緒に釣りを体験しました



世界自閉症啓発デーにちなむ、発達障害の子どもたちの作品展示会

団体情報

連絡先	✉ info@autymg.xyg
ホームページ	https://www.autymg.xyg/
活動場所	各分会（岩柳、周南、防府、山口萩、宇部、下関）及び県域で集会活動を実施



山口県重症心身障害児(者)を守る会

活動概要

障害当事者団体

重症児(者)を取り巻く環境の改善を目指して活動しています。また、全国大会や支部活動を通して、会員同士が悩みや喜びを共有できるつながりを育んでいます。

活動内容・PR等

「最も弱いものをひとりももれなく守る」という基本理念に添って、施設対策と在宅対策の運動をすすめ、親の意識の啓発と連携を密にするための地域活動、施設活動を行っています。

守る会の三原則

1. 決して争ってはいけない。争いの中に弱いものの生きる道はない
2. 親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加する者は党派を超えること
3. 最も弱いものをひとりももれなく守る

事業内容

- ・県内の重症心身障害児(者)への福祉対策の推進
- ・相談会、研修会、施設見学
- ・山口県医療的ケア児等家族相談会交流会(県業務の受託)
- ・各施設へ遊具・イベント用品を寄付(クリスマス用品)
- ・在宅のお子さんへプレゼント(ひざ掛けなど)



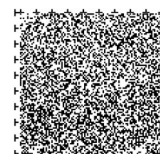
クリスマス会



山口県支部リーフレット

団体情報

連絡先	支部長 石本 TEL・FAX 0820-48-4114
ホームページ	https://www.normanet.ne.jp/~ww100092/ (全国団体ページ)



山口県手話サークル連絡協議会 (県手連)

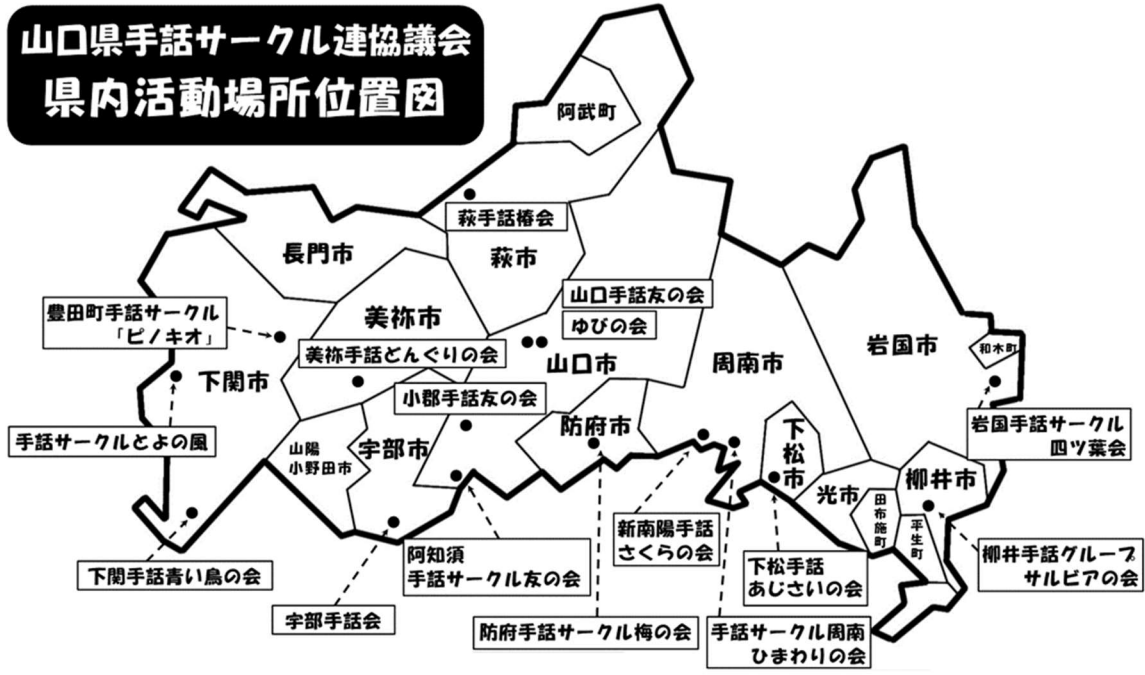
活動概要

支援・ボランティア団体

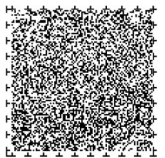
設立：1971（昭和46）年9月 2021年に創立50周年を迎えた
加盟サークル数：県内10市16サークル（2022年度）
会員数：609名（2022年5月1日現在）

活動内容・PR等

会議等：定期総会（講演等同時開催）・会長会議・役員会・県手連だより発行他
独自行事：手話サークル交流会・ろうあ者等の体験を聞く会・昼の部手話サークル研修会
合同行事：耳の日記念山口県大会（山口県ろうあ連盟共催）
中国地区合同手話研修会（山口県手話通訳問題研究会共催・中国5県持ち回り）
参加協力：山口県聴覚障害者情報センター祭り（後援会構成団体として参加）
山口県ろうあ連盟行事に参加
ボランティア協力：キラリンピック&障害者スポーツ大会選考会（山口県主催）
設立当初は4サークルでスタート。現在は、県内16サークルを4ブロックに分け、それぞれのブロック（担当サークル）で行事を分担しながら活動をしている。
また、2019年10月に山口県手話言語条例が施行され、手話を学ぶ事とともに、手話を広めることが大きな役割となっている。



団体情報	
連絡先	事務局 岡本 TEL/FAX 083-927-7826 ✉ ma-sa-ko@c-able.ne.jp
主な活動拠点	山口県聴覚障害者情報センター



山口県手話通訳問題研究会

活動概要

支援・ボランティア団体

聴覚障害者福祉向上と手話通訳者の社会的な地位の向上をめざして、全国手話通訳問題研究会の支部組織として、聴覚障害者団体と連携しながら研究運動を続けています。

活動内容・PR等

山口県手話通訳問題研究会（略称 山通研）は、一般社団法人全国手話通訳問題研究会の支部組織で、聴覚障害者福祉の向上と手話通訳者の社会的な地位の向上をめざして日々活動を行っています。全国の会員数は約1万人、山通研の会員数は毎年150人前後です。運営委員は各地区から選出された18人の委員で構成され、毎月1回、行事の取り組みや支部だより（毎月発行）の紙面づくり等をテーマに話し合っています。

聴覚障害者福祉といえば、今関心が高いのは「手話言語条例」の具体化です。障害者権利条約で言語と認められた「手話」を市民に広く浸透させることが、手話を母語とするろう者の願いであり、私たち手話関係者の務めと考えています。最近地方自治体の首長の記者会見に手話通訳者が配置されるようになりました。情報保障の面で一歩前進ですが、非正規の手話通訳者が80%を占めており、通訳者の待遇改善が当研究会の課題です。

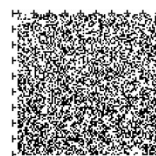


山通研討論集会の合間にストレッチ



山通研発行「ポケットコミュニケーション」
(左から、医療版・介護版・防災版)冊子

団体情報	
連絡先	✉ yamatuuken@yahoo.co.jp
活動場所 活動日・時間	運営委員会の会場は主に山口県聴覚障害者情報センター 運営委員会は原則第一土曜日 9:30~12:00か13:30~16:00
ホームページ	yamatuuken.cocolog-nifty.com/blog/



山口県障害福祉サービス協議会

活動概要

支援・ボランティア団体

平成18年4月の国の三障害（身体障害・知的障害・精神障害）一元化の事業体系再編を受けて、私たちは県内のすべての障害福祉サービス支援の一元化を実践すべく、平成25年4月、本会を設立し、以来、障害福祉サービス支援の充実、向上に努めてきています。

活動内容・PR等

1. 部会

- (1) 介護部会（療養介護事業・生活介護事業）
- (2) 就労部会（就労移行支援事業・就労継続支援事業・地域活動支援センター等）
- (3) 自立訓練部会（生活訓練事業・機能訓練事業）
- (4) 居住部会（入所支援施設・共同生活援助事業・福祉ホーム等）
- (5) 相談部会（相談支援事業）
- (6) 児童部会（児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業等）

2. 委員会

- (1) 組織運営委員会：組織の充実、拡充
- (2) 研修委員会：研修会の開催（5回／年）
- (3) 広報委員会：会報「障サ協通信」の発行（4回／年）

3. 要望活動

国や地方自治体への障害福祉サービス事業に関する制度・政策の検証、要望活動

4. 会員事業所・施設において

- (1) 会員事業所・施設間相互の連絡調整、職員の資質の向上
- (2) 障害福祉の健全な発展と向上



部会協議の様子

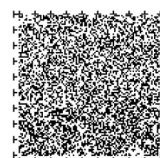


防疫・防災研修会の様子

団体情報

連絡先 事務局 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内
TEL 083-924-2799
FAX 083-924-2798
✉ syougai@yg-you-i-net.or.jp

ホームページ <https://www.ymg-sfs.jp/>



人工内耳友の会ACITA山口支部

障害当事者団体

📄 活動概要

人工内耳の普及と社会的理解の促進に関する活動を行うとともに、人工内耳装用者間の相互の情報交換、親睦を図っています。

📄 活動内容・PR等

➤ ACITA

「ACITA」とは、「あした（明日）」と読み、「Association of Cochlear Implant Transmitted Audition」の頭文字をとったもので、「人工内耳を介した聞こえの集い」という意味。

日本語の「明日」は、未来への希望の意味ももつことから、会員の明るい未来を願って名付けられています。

➤ 人工内耳

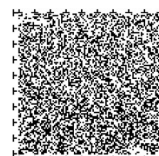
人工内耳は、障害がある内耳に代わって、音を電気信号に変え、聴神経に伝える医療機器です。音を大きくする補聴器とは異なり、内耳（蝸牛）の損傷を受けた部分に代わって、脳に音の信号を送る働きをします。内耳が原因で補聴器では効果が少ない高度感音性難聴には人工内耳が有効です。人工内耳では補聴器と違って、手術が必要です。



人工内耳友の会ACITAのマーク
2つの「輪」で「和」と「話」を、交点で人工内耳を表しています

団体情報

連絡先	acita.yamaguchi@google.com
ホームページ	https://www.normanet.ne.jp/~acita/ （全国団体ページ）
活動場所 活動日・時間	3ヶ月に1度、主に山口県聴覚障害者情報センターにおいて定例会を開催



一般社団法人 山口県身体障害者団体連合会

障害当事者団体

活動概要

障害者福祉の向上を目指すとともに、障害者の社会参加推進に関する事業を行い、障害者に対する社会の理解を深め「共生社会」の実現を目指しています。

活動内容・PR等

● 身体障害者の福祉増進に関わる事業

- * 関係機関への要望事業
- * 身体障害者の功労者への表彰事業

● 共生社会の推進に関する事業

- * 山口県障害者社会参加推進センター運営事業
- * 障害者110番運営事業
- * 障害者文化芸術活動推進事業
- * 障害者わくわく体験・ステップアップいきいき講座の開催事業（各大会、各講座）
- * 身体障害者・知的障害者相談員活動強化事業
- * JRジパング倶楽部（特別会員）取扱事業
- * 障害者福祉に係る啓発広報事業（HP、Facebook、会報）



山口県身体障害者・知的障害者相談員研修会

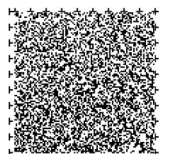


山口県障害者芸術文化祭作品展示会

団体情報

連絡先 事務局 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内
TEL 083-928-5432
FAX 083-928-5436
✉ webmaster@syogai-yamaguchi35.jp

ホームページ <http://syogai-yamaguchi35.jp/>



NPO法人 山口県腎友会

活動概要

障害当事者団体

腎臓病治療と予防のため医療体制の充実発展の支援、資料・情報の収集と作成、機関誌の発行、各施設間の交流と組織の拡充強化、上部団体（一社）全国腎臓病協議会との連携による諸活動の実施

活動内容・PR等

【活動目的】

腎臓病患者に対して、腎臓病に関する正しい知識の普及及び社会啓発並びに腎臓病患者の自立と社会参加の促進を図り、以て社会の保健、福祉の向上に寄与すること。

【活動内容】

- (1) 県内31の人工透析施設（病院・内科クリニック等）で患者会を結成して、花見会・料理教室・レクリエーション・小旅行・各種講習会の開催
- (2) 下部組織の8地域腎友会での腎臓移植キャンペーン活動や各市への要望活動
- (3) 県腎友会としては、会報「じんゆうだより」や全国腎臓病協議会発行の「ぜんじんきょう」の会員や関係団体への発送、県民公開講座の開催、山口県立大学授業協力、議員会館での国会請願・署名活動、政党や県担当課への政策要望活動等



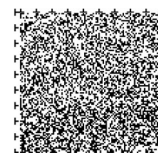
定期大会における表彰場面



臓器移植キャンペーン

団体情報

連絡先	山口市大手町9番6号（事務局） TEL 083-921-6222 FAX 083-921-6223
活動日・時間	毎週月曜日から金曜日・9時～17時
ホームページ	http://www.npojinyama.net



山口県精神保健福祉会

活動概要

障害当事者団体

精神障害のみならず、予防の重要性も鑑み、症状の軽い方も関わりやすい活動を行いつつ、精神障がい者への理解を深めて頂ける為の活動を通し、親亡き後でも、安心して生活ができる社会、地域作りを目指します。

活動内容・PR等

地域包括支援センターや家族会等と情報交換を行いながら、さまざまな工夫をしつつ、活動を行っています。

- ・交流会、勉強会。
- ・体育教室
障がいのない子供達（幼児、小学生）と一緒に、精神、知的障がいのある子供達と体育やスポーツをする中で双方の理解を深めていきます。
- ・手話歌
楽しみながら手話を覚え、脳の活性と心の解放を促します。
- ・絵本読み聞かせ
大人も子供も楽しめる絵本の内容を通し、障がい者への理解を深め、ご家族や地域の人々とのふれあいを深められるよう活動しています。
- ・認知症カフェ（オレンジカフェ大内）

精神障害者とは

「統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害 精神病質その他の精神疾患を有する者をいう。」（精神保健福祉法第5条）

その他の精神疾患

認知症、うつ病、双極性障害や睡眠障害、ギャンブル等の依存症、ストレス関連障害、発達障害など、精神科医療の対象となりうる全ての疾患。



障害のある子もいない子も、楽しく体を動かしながら、個性のちがいを受け入れていきます。

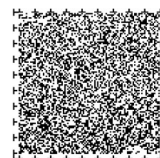


大人も子供も楽しめる、障害を題材とした絵本の読み聞かせで、手話歌を地域の皆様と。

団体情報

連絡先 事務局 山口市大内氷上3丁目6-2
TEL 090-2803-0287
FAX 083-929-3757
✉ kokoro-or8778@outlook.jp

ホームページ <https://komaka.app/kokoro87-red>



一般社団法人 山口県相談支援専門員協会

活動概要

支援・ボランティア団体

相談支援専門員として障害のある方の想いに寄添う相談支援を実践するために研修の実施や日本相談支援専門員協会とも連携を図り国からの最新情報など情報共有をしています。

活動内容・PR等

当法人は、相談支援専門員の職能団体として、障がいのある方の地域生活を支援する目的で障がい者ケアマネジメントを基本とした中立、公平な相談支援活動を実践するとともに、自らの資質及び社会的地位の向上に努めることをもって、障がいのある方の自立した生活支援に資することを目的とする。

- (1) 障がいのある方の福祉の増進に関すること
- (2) 相談支援専門員の資質及び社会的地位の向上に関すること
- (3) 障がい福祉に係る調査研究に関すること
- (4) 相談支援体制の調査・研究・提言に関すること
- (5) その他当法人の目的を達成するために必要なこと

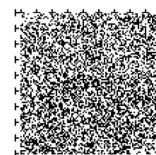


相談支援専門員を始めとした
福祉・医療・教育等関係者を対象とした研修会の実施

ICTを活用した研修会の実施(年2~3回)

団体情報

連絡先 下関市秋根南町1丁目1-5
TEL 080-3895-2232
FAX 083-963-9194
✉ ycs.2012@hotmail.com



一般財団法人 山口県知的障害者福祉協会

活動概要

支援・ボランティア団体

山口県内に所在する知的障害者の施設、事業所の充実向上及び知的障害者の福祉増進を図ることを目指し活動しています。

活動内容・PR等

昭和41年2月に山口県精神薄弱者愛護協会を発足、昭和48年に中央組織と連携、昭和61年8月に県の認可を受け法人化し、平成12年6月に山口県知的障害者福祉協会に名称変更し現在、県内141事業所が加盟、障害福祉に携わる者として、利用者、保護者、職員が共に幸せであるための社会づくりに向けて活動しています。

主な活動内容としては、事業種別ごとの部会研究会の開催・種別を横断した委員会活動や研修会等を通し、各事業所職員の資質向上を図っています。

また平成29年7月より、山口県弁護士会と連携協定を締結し圏域毎の無料相談会の開催や司法修習生の実習受入れ、相互の研修会への参加など相互理解を図る取り組みをしながら山口県の虐待根絶を目指し取り組んでいます。

さらに、インクルーシブ社会の実現を目指し、イベント開催や研修会を通して広く啓発を行っています。



毎年県内各地で福祉振興大会を開催し福祉の意義を確認しています。

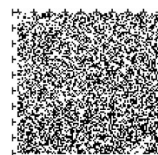


多くの利用者が中国大会を目指し日頃から練習に取り組んでいます。

団体情報

連絡先 山口県社会福祉会館内（事務局） 山口市大手町9-6
TEL 083-925-2424
FAX 083-925-2212
✉ yamachifuku@alpha.ocn.ne.jp

ホームページ <https://yamaguchi-aid.com/>



山口県中途失聴・難聴者協会

活動概要

障害当事者団体

中途失聴・難聴者が融和、協力して相互扶助の精神に則り、その生活文化の向上を図るとともに、広く関連友好団体と連携して、身体障害者の福祉活動の拡充に貢献することを目的としている。

活動内容・PR等

➤ 定期総会、レクリエーション、学習会等の開催

毎年4月頃に定期総会を開催しています。

その他のレクリエーション、学習会等は不定期開催。

また、毎年、全国中途失聴者・難聴者福祉大会を全国各地で開催しています。

2023年11月25日（土）～27日（月）は秋田県で開催です。

➤ 機関紙「ふく」の発行

年4回発行しています。購読会員を募集中です。（会員は無料、購読会員は年間1,000円。）



耳マーク

聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。

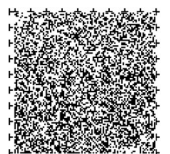


ヒアリングループ

補聴器や人工内耳に内蔵されている磁気誘導コイルを使って利用できる施設・機器であることを表示するマークです。

団体情報

連絡先	✉ info-yamanan@yama-nan.com
ホームページ	https://yamaguchiken-nankyo.jimdofree.com
活動場所 活動日・時間	県内各地 定期総会4月、その他不定期開催



一般財団法人 山口県手をつなぐ育成会

活動概要

障害当事者団体

社会情勢が変化する現状では、確保した制度施策の変更があるかもしれません。知的障害者とその家族を守り、福祉の増進に役立つことを目的として活動します。

活動内容・PR等

- **手をつなぐ育成会福祉・教育振興山口県大会**
障害福祉がかかえる問題の解決に向けて、共に学び支え合う事を目的に開催
- **本人活動～仲間の輪を広げます～**
(本人の能力アップを支援するグループ活動)
 - ・リーダー養成(宿泊訓練) ・勉強会 ・ミニミニ運動会 ・新年会
- **母親(父親)フォーラム**
制度施策を含め、保護者が知っておきたい物事などを課題とした研修会を開催
- **広報誌「手をつなぐ」「きららの会新聞」**
年1回 役立つ情報、知りたい情報をお届けしています。
- **会員のみが加入できる保険があります。**
- **全国機関誌「手をつなぐ」販売**
知的な障害がある本人とその家族に関しての必見情報を届ける機関誌です。



母親(父親)フォーラム

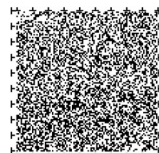


生活訓練リーダー養成

団体情報

連絡先 事務局 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内
TEL 083-925-2424
FAX 083-925-2212
✉ yamagutikenikuseikai@yacht.ocn.ne.jp

ホームページ <http://y-ikuseikai.com/>



山口県点訳音訳ボランティア連絡会

活動概要

支援・ボランティア団体

50年以上にわたり視覚障害者の支援に関わる活動を行っています。総合支援学校・図書館・行政と連携しながら、視覚障害者への情報提供や学習の取り組みを続けています。

活動内容・PR等

本団体は、県内の点訳・音訳ボランティア団体(個人も含む)が所属する全県的な団体です。事業内容としては、点訳・音訳の研修に関する事、県内における点訳・音訳・その他の視覚障害者への福利厚生事業等を行っています。

具体的には、

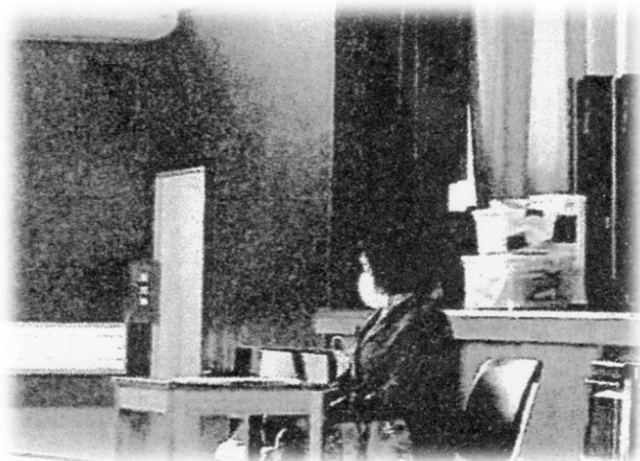
- ① 点訳講習会・音訳講習会の開催
- ② 幹事会(会員の代表)各グループ・個人の情報交換の場
- ③ 英語点訳グループの研修会等を実施しています。

又、行政や個人からの点訳や音訳の依頼にも対応しています。

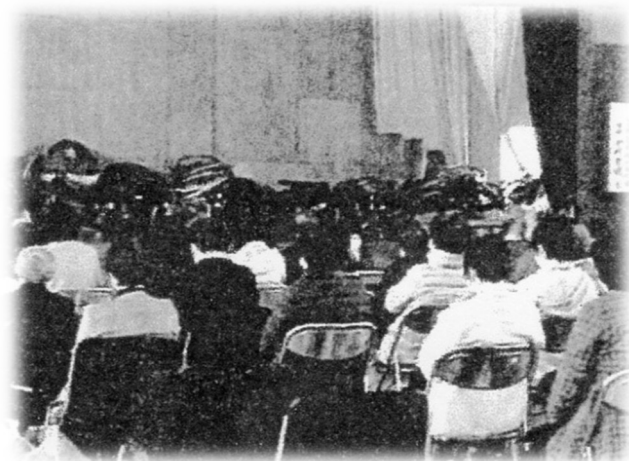
数年前より、ロービジョンの勉強にも取り組んでいます。

山口県視覚障害支援マップボランティアの部に掲載

お気軽にご相談下さい。



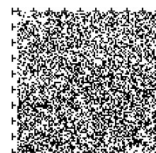
「心を伝えるコミュニケーション」という演題で



講演会の様子(約90人が参加)

団体情報

連絡先	担当：梶間 TEL 083-250-6680 FAX 083-250-6680
活動場所	全県



認定NPO法人 みらいプラネット

協働活動団体

活動概要

- 1 患者等障がい者の差別や偏見を無くすなど人権を擁護する事業を行い、笑顔あふれる共生社会の実現を目指すことを目的とする。
- 2 患者を支援する事業を行い、病気の啓発活動に寄与することを目的とする。

活動内容・PR等

1 人権擁護～二次被害の撲滅

患者等障がい者は、しばしば病気や障害そのものよりも思い込みや偏見、先入観による差別や虐めを受けたりします。患者等障がい者など多くの社会的弱者は、二次被害に苦しんでいます。二次被害とは、例えば患者の場合はその病気への無理解や先入観のために、差別やいじめを受けたりするようなことを言います。障がい者・犯罪被害者・父子母子寡婦等々あらゆる社会的弱者といわれる方たちは、このような二次被害に傷つき苦しめられています。

そのためには自分より弱い立場の人への先入観や偏見による差別をなくすことが大切です。全ての差別と偏見の撤廃・排除を行い、人権を守り、「笑顔あふれる共生社会の実現」に向けて、みらいプラネットではいわれのない差別や偏見に対する悩み相談や講演活動を積極的に行っています。

2 患者支援～病気の啓発

『難治性血管奇形』という難病をはじめ、病気の啓発を行っています。

たとえば難治性血管奇形であれば、医療関係者ですら未だに7歳頃までに自然退縮する「血管腫」と混同されがちです。血管奇形は外傷や感染、ホルモン変調など成長によって増大し、自然退縮しません。疾患部位が全身にわたるため、診療科が脳外科、皮膚科、形成外科、放射線科、小児科、整形外科などと多岐にわたっています。難治性血管奇形のうち、形成外科分野である顕在性疾患の一部のみ指定難病になっていますが、ほとんどのものが原因不明で専門医によってその輪郭がまちまちであり、患者救済のためにも一刻も早い解明が必要です。

みらいプラネットでは厚生労働省などに難病の請願などの働きかけや個別の患者相談を行っています。

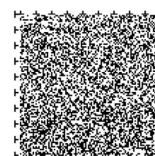


障がい者の生活支援としてカウンセリングを行ったり、子どもたちへブーツ菓子の贈り物をしています。

本年度、各市町に小学校配布用として障がい者理解のための人権学習啓発図書7千冊を配布しています。

団体情報

連絡先	防府市新橋町1-11 カーサ・デ・エスペランサ 2F TEL 090-9066-4043 (事務局 赤峰) ✉ info@yg-rvm-support.org
ホームページ	http://www.yg-rvm-support.org/index.html



山口盲ろう者友の会

協働活動団体

活動概要

盲ろう者は視覚と聴覚の両方に障害があるため、コミュニケーションや情報入手、移動が困難な状態に置かれています。友の会では盲ろう者の自立と社会参加を促進する事を目的に、活動しています。

活動内容・PR等

- ・啓発活動
- ・盲ろう者への訪問活動・情報提供
- ・各種大会参加～全国盲ろう者大会、中・四国盲ろう者大会、他団体の大会等
- ・交流会～県内の盲ろう者や他県の盲ろう者との交流他
- ・会報「ほほえみ」年2回発行
- ・生活訓練～コミュニケーション学習（触手話、指点字等）、情報支援学習（パソコン、ブレイルセンス）、白杖歩行訓練等
- ・県の委託事業により、盲ろう者通訳・介助員の派遣

<盲ろう者のコミュニケーションは、障害の受障時期や程度により様々です>

触手話



手書き



指点字



音声



プリスタ



筆記



設立20周年記念の集い 2018年



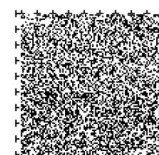
ブレイルセンス(パソコン)講習

団体情報

連絡先 事務局 橋本
TEL/FAX 083-924-6397
✉ h.kumiko@extra.ocn.ne.jp

活動場所 山口市及び各支部にて
(下関市、宇部市・防府市、萩、周南・柳井、岩国市)

ホームページ <https://ymgdb.hatenablog.com>





NPO法人 全国要約筆記問題研究会 山口県支部

支援・ボランティア団体

活動概要

情報バリアフリー社会の実現をめざして、さまざまな支援活動を行っています。

活動内容・PR等

聴覚障害者のコミュニケーションは、手話だけではありません。

聞こえにバリアを感じている方は、人口の10%とも言われています。要約筆記は難聴者、中途失聴者にとっての情報保障であり、大切なコミュニケーション手段です。

聞こえの問題や、筆談・要約筆記について考える活動をしています。

聴覚障害者の社会参加の促進を図るために、要約筆記を中心とした情報保障に関する研究、普及の運動などを行い、音声情報バリアフリー社会の構築を図ることを目的に活動している団体です。



施設の耳マークや文字情報を探してみました



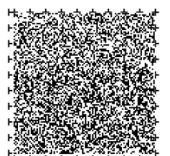
屋外の要約筆記に挑戦してみました

団体情報

連絡先 ✉ zenyoken_yamaguchi@yahoo.co.jp

活動場所 山口県聴覚障害者情報センターほか

ホームページ <http://zenyouken.jp/> (全国要約筆記問題研究会)



NPO法人 山口県要約筆記連絡協議会

支援・ボランティア団体

活動概要

中途失聴・聴難聴者への意思疎通支援を文字通訳で行っております。

活動内容・PR等

中途失聴・難聴者への字通訳による意思疎通支援を行っております。

年間を通じて各地で、要約筆記者の資質向上のための研修および養成講座を開催しております。

特色としては、当事者団体と共に企画から開催まで一緒に行っていることです。

当事者の意思を尊重して、ともに歩む意思疎通者を目指し育てています。

現在は、当事者から要望の強いWeb通訳に視点を置き、研修を行っております。

また、当協議会では一般の方々にも「要約筆記」を知って頂けるよう、他のボランティア団体の方々とも共同して活動していく計画も進めています。



パソコン要約筆記をスクリーンに投影して参加者全員で情報を共有しています。



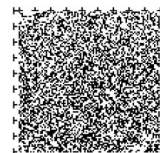
ノートテイク(手書き)は受診や面談など個人のニーズに柔軟な対応ができます。

団体情報

連絡先

活動場所

ホームページ



一般社団法人 山口県ろうあ連盟

活動概要

障害当事者団体

県内のろうあ者が相互扶助の下に団結し、福祉の増進と文化の発展に努めるとともに、ろうあ者の厚生及び、社会的地位の向上を図ることを目的として、活動しています。

活動内容・PR等

主な活動は、毎年3月3日に近い日曜日に「耳の日記念山口県大会」を各市持ち回りで開催し、県民の皆様には「聴覚障害者」の事、ろうあ者の言語である「手話」への理解をしてもらう為に行っています。

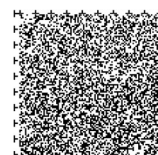
また、総会に合わせて「ろう者大会」の開催、「文化教養講座」「教育フォーラム」「労働フォーラム」を開催し、聴覚障害者の抱える諸問題について考える講座も開催しております。



2019年山口県手話言語条例 制定

団体情報

連絡先	山口市鋳銭司南原2364-1 山口県聴覚障害者情報センター内 TEL 083-986-2818 FAX 083-963-4380
ホームページ	http://yama-deaf-leag.info/hp/



障害のある人もない人も 共に暮らしやすい山口県づくり条例



<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/50/178015.html>

関連条文

第四章 共生社会の実現に向けた施策の推進等

(普及啓発)

第17条 県は、障害及び障害者に対する県民の関心と理解を深めるため、障害及び障害者に関する正しい知識の普及及び啓発その他必要な施策を講ずるものとする。

(県民等の活動の促進)

第22条 県は、県民、事業者又はこれらの者の組織する団体が自発的に行う障害及び障害者についての理解を深めるための活動を促進するため、情報の提供その他の必要な支援を行うものとする。

編集・発行 山口県健康福祉部障害者支援課

〒753-8501 山口市滝町1-1

TEL 083-933-2764

FAX 083-933-2779

✉ a14100@pref.yamaguchi.lg.jp

